

《キーワード》 口腔顎顔面外科、口腔・顎顔面の構造と機能

《担当者名》 永易 裕樹

【概要】

顎・顔面・口腔の構造と機能を理解し、口腔・顎並びに隣接組織に現れる疾患の原因、病理、症状、診断、処置及び予後についての知識を身につけ、問診、画像・検査所見からの総合的な診断、及び最も適した治療方針の立案、基本的な外科処置について習得することを目標とする。

口腔外科学特論 ・ 実習では主に炎症、外傷、嚢胞、腫瘍、唾液腺疾患、粘膜疾患について学習する。

【学修目標】

1. 顎・顔面・口腔の構造と機能を説明できる。
2. 歯性炎症の特徴について説明できる。
3. 顎・口腔領域の炎症の診断及び治療法について説明できる。
4. 顎・顔面・口腔領域の外傷の症状と治療法について説明できる。
5. 顎・顔面・口腔領域に生じる嚢胞の病態と治療法について説明できる。
6. 口腔腫瘍の病態と診断及び治療法について説明できる。
7. 唾液腺疾患の診断、治療法について説明できる。
8. 口腔粘膜疾患の病態と治療法について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	口腔外科の特殊性	永易 裕樹
2	顎口腔領域の炎症とその処置	顎・口腔領域の炎症の診断及び治療法について説明できる。	永易 裕樹
3	顎・顔面・口腔領域の外傷（軟組織の損傷、骨折）の病態と処置	顎・顔面・口腔領域の外傷の症状と治療法について説明できる。	永易 裕樹
4	顎・顔面・口腔領域に生じる嚢胞の病態と治療法	顎・顔面・口腔領域に生じる嚢胞の病態と治療法について説明できる。	永易 裕樹
5	口腔腫瘍の病態と診断及び治療法	顎・顔面・口腔領域に生じる腫瘍の病態と治療法について説明できる。	永易 裕樹
6	唾液腺疾患の診断、治療法	唾液腺疾患の診断、治療法について説明できる。	永易 裕樹
7	口腔粘膜疾患の病態と治療法	口腔粘膜疾患の病態と治療法について説明できる。	永易 裕樹

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

口頭試問又は筆記試験

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【備考】

外来においての実習を含む。

【学修の準備】

顎・顔面・口腔領域の炎症、特に歯性感染症、外傷、嚢胞、腫瘍、唾液腺疾患に関する総論を理解したうえで受講するのが望ましい。